

奈良県の有料道路ネットワークの早期完成 ～道路予算総額の拡大～

平成29年11月

【担当省庁】国土交通省

国にお願いすること

■有料道路ネットワークの早期完成

- ① 第二阪奈有料道路の**ネクスコ西日本移管**
- ② 大和北道路の『**合併施行方式(直轄道路事業+有料道路事業)**』による**平成30年度新規事業化**

■計画的道路整備の推進

- ① **当初予算の総額の拡大**
- ② 補正予算の早期編成(使途を限定しない)
- ③ **道路財特法の補助率等の嵩上げ措置の継続実施**

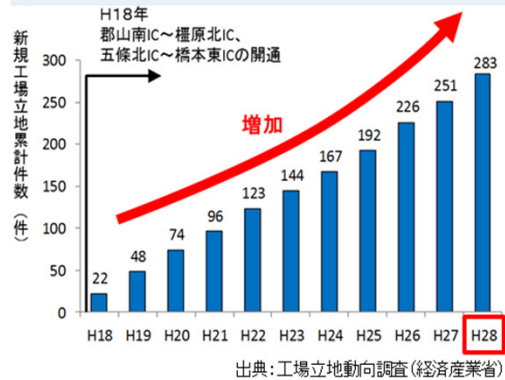
京奈和自動車道周辺の工業団地等



初の開通から10年、新規企業立地 累計283件
年間20件以上を維持

立地件数(H28年度) **32件(全国第12位)**

人口に対する立地件数(H28年度) **全国第2位**



大和郡山市内の企業の声(H29.5ヒアリング)

・現在は京都・滋賀方面へ納品する場合、奈良市内の渋滞箇所を迂回し、西名阪から近畿自動車道の経路を選択している。

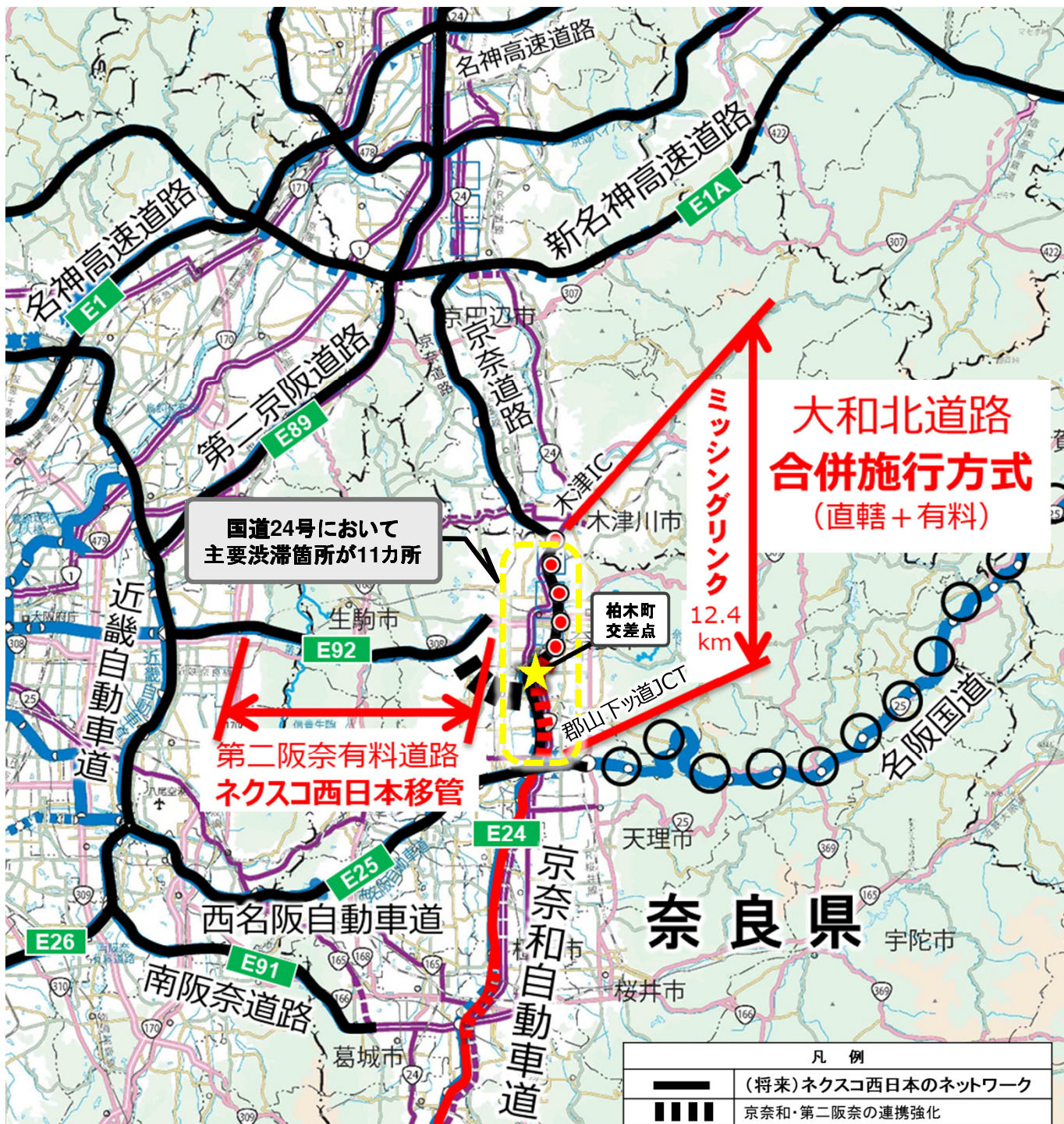
また、関東方面へのメインルートは名阪国道だけで、時間が読みづらく、アップダウンも大きいいため、製品を傷つけないよう運転に注意が必要。

・到着時間が読めないことでトラックドライバーの長時間労働が問題となっている。

・定時性確保や複数経路の確保のためには、大和北道路の早期整備を非常に期待している。

有料道路ネットワークの早期完成

- 南北軸である国道24号に交通が集中し、慢性的な渋滞が発生
(柏木町交差点の渋滞損失時間は県内ワースト1位)
- 渋滞解消や定時性の確保するため、大和北道路の早期整備が必要



出典: 近畿地方整備局発行の管内図を奈良県で加工